

フロスポーク

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

岸和田競輪 開設 71 周年記念 岸和田キング争覇戦 号外版

村田雅一(兵庫/90期)

あまり伸びが良くなかった時もあったが、ここに来て差し脚に切れが出てきた。11月福井、同月松阪と準決で連勝すると、12月千葉記念 in 松戸では予選を3②着で準決に駒を進めた。近畿地区の開催で気合も入る。



佐藤幸治（長崎/92期）

準決を乗り切れない場所が目立つものの、10月防府では3連勝を達成した。12月佐世保記念は1②着で準決に進出していて、随所で好走している。人気薄のときでも自在戦が奏功すれば一発怖い。



選手直前インタビュー 俺の出番だ!!

神田 紘輔

地元記念は4年ぶり。気負い過ぎてオーバーワークになって失敗したので、今回は前回の分もしっかり決勝を目指したい。4年前よりは成長できてると思うし、佐世保記念で村上（義弘）さんに練習方法のアドバイスももらった。また成長できると思う。

古性 優作

(大阪/100期)

競輪の流れが変わってるし、常に挑戦し続けないと前に進めない。今はとにかく色々試していきたいですね。あっせんが来たときはわからなかつたけど、岸和田記念なんでしっかり気持ち入れて。とにかくいいパフォーマンスができるようにしたい。



金子幸央 (栃木/101期)

12月平塚では「3度目の正直」でようやくS級特進を果たした。A級戦とは言え、12場所で9V(7回は完全V)は圧巻の成績だ。S級初戦の12月川崎は3①③着。自慢のスピードを発揮して台風の目と化すか。

崖和田記念 出場予定選手

※2020年12月29日時点